



中空車軸超音波検査装置

装置概要

※ 納入事例の動画などが
ご覧いただけます。 →



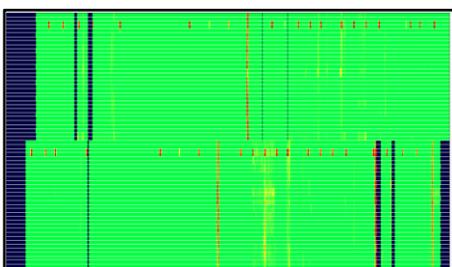
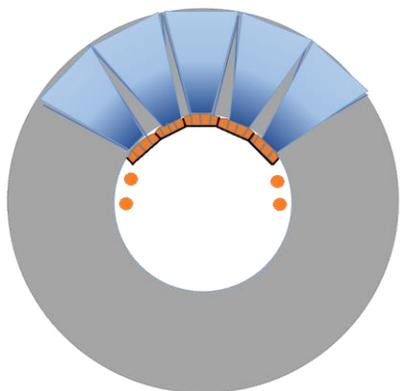
I	鉄道中空軸内に多チャンネルの超音波プローブを差し込んでいく事によって、軸全周の欠陥を探傷する装置です。検査は自動で行われます。
II	専用の超音波プローブは、1周64振動子でプラス方向とマイナス方向両方で128素子の配列とし、Ch間の送受信を独自の方法で行う事により、周方向の欠陥検出の精度を向上させています。
III	本装置をインターネットに接続する事により、遠隔で検査画面やPLCの状態確認し状況を把握する事が可能です。
IV	超音波プローブは非回転で検査を行い、使用する接触媒質（マシン油）は自動で回収し循環して使用します。
V	バッテリー駆動により、装置を移動させて検査を行う事が可能です。

主な装置仕様

設備サイズ	外形寸法（構想）：L1,850mm×W700mm×H1,650mm程度 （探傷ヘッド部、突起部を除く）
重量	約650kg（構想）
動作方法	手押し式電動台車方式（バッテリー駆動）
測定部	3 2 Chマルチ超音波探傷装置
検査時間	90秒/1軸（マシンサイクル）
動力源	供給電源：AC200V 3相 60Hz



超音波プローブの
超音波ビームイメージ



【検査仕様】
対象欠陥：0.5mm～3mm深さの
スリット傷
（検査箇所によって変わります。）
検査内径：Φ60mm

